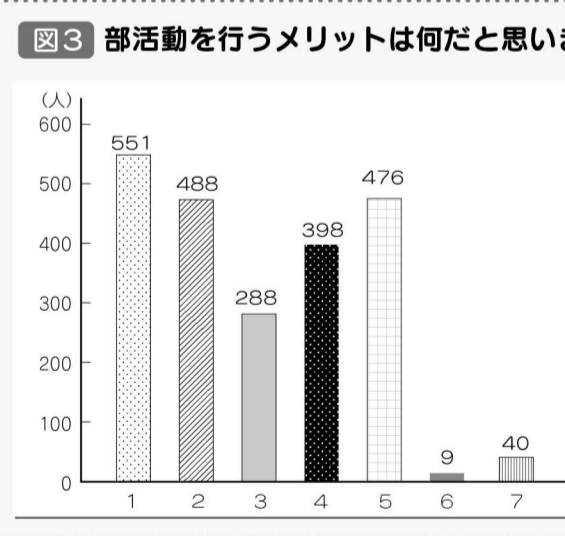
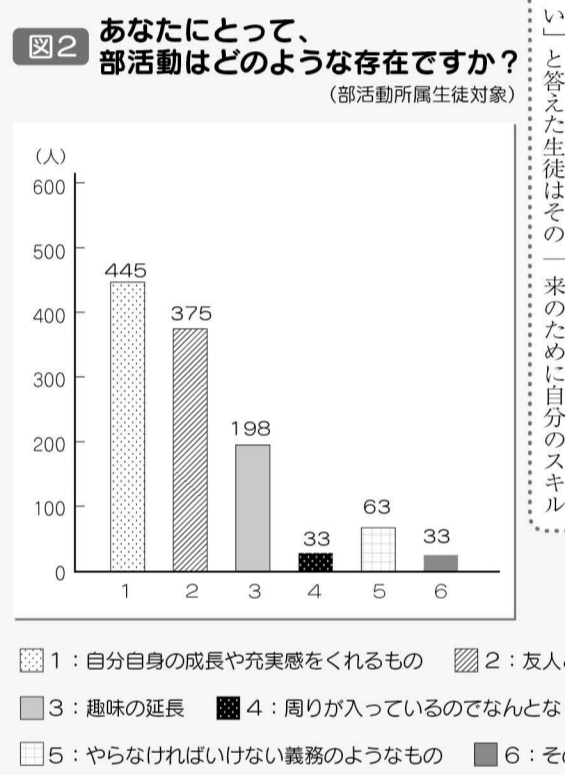
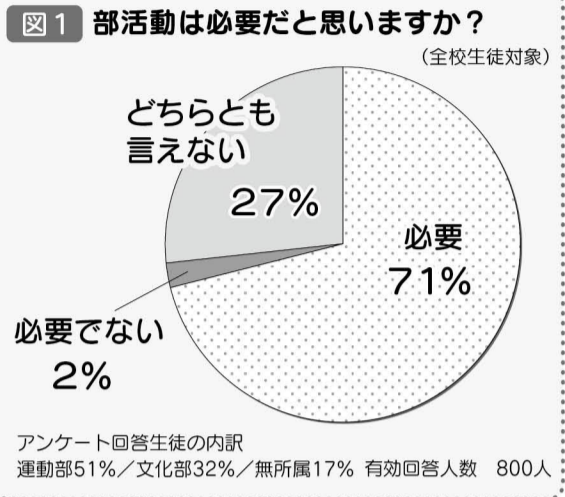




The TKF TIMES

2017 (平成29年) 3月1日 (水) 高崎市立高崎経済大学附属高等学校新聞部発行 卒業式号
住所 〒370-0081 高崎市浜川町1650-1 電話 027-344-1230

印刷: ジャーナル印刷株式会社
〒370-2115 前橋市箕井町456-12
電話 027-281-8088
FAX 027-281-8089



目次

- 1面…部活動 (2面へ続く)
- 2面…受験体験記・高経附あるある!
- 3面…経附生アンケート特集
- 4-5面…TKF MEMORY in 2016
- 6面…商標権・オートファジー
- 7面…こんにやく特集
- 8面…卒業生に向けて
~校長・学年主任・生徒会長・部長挨拶~

現状と課題 部活動は必要か?

近年本校の部活動はめざましい活躍を見せているが、部活動との関わりは卒業後も続くこともある。5月に行われた本校吹奏楽部の定期演奏会ではOB・OGも協力に駆けつけた。運動部に所属していた卒業生の中には大学でもそのスポーツを続け、体育の教員を目指す教育実習に来る人もいた。また職業には関係ないが、部活動を通じて学んだことや、友人との思い出は一生の宝となる。部活動は日本の文化活動やスポーツの普及に貢献しているとも言えるだろう。

一方で部活動には課題もある。本校生徒がよく「部活と勉強の両立が難しい」と答えているのはその一因である。また、部活動に所属している生徒は、部活動に費やしている時間や費用が、友人や顧問などの思い出になるという意見も多かった。この回答の背景には中学生の頃の「部活動は入るのだから」という思いが当然に込められている。

充実感と義務感

では生徒にとって、部活動は日常生活の中でどのような存在なのだろうか。アンケートの結果、約7割の生徒が「自分自身の成長や充実感を与えるもの」と回答している。一方、約3割の生徒が「やらなければいけない義務のようなもの」と答えている。これは、部活動が単なる趣味の延長ではなく、一定の責任や義務を伴っていることを示している。

また、多くの生徒が「友人や顧問との思い出になる」と答えている。これは、部活動が単なる個人の活動ではなく、仲間と協力して取り組むことで生まれる絆や思い出を大切にする姿勢を示している。

教師の思い

一方、部活動の顧問をしている先生方はどのような思いを抱えているのだろうか。アンケートの結果、約7割以上の先生方が「必要だ」と答えている。これは、部活動が生徒の成長や生活に大きな影響を与えていることを示している。

また、多くの先生方が「部活動を通じて、生徒が人間関係や上下関係を学べる」と答えている。これは、部活動が単なる技術の習得だけでなく、人間性や社会性を育てる場として機能していることを示している。

アンケートから見たもの

本校生徒は部活動に充実感や楽しさを感じ、同時に普段の学校生活だけでは得られない人間関係を実感している。また、部活動を通じて学んだことや、友人との思い出は一生の宝となる。部活動は日本の文化活動やスポーツの普及に貢献しているとも言えるだろう。

全校生徒 約7割

あなたは部活動とは自分にとってどのような存在なのだろうか。アンケートの結果、約7割の生徒が「必要だ」と答えている。これは、部活動が単なる趣味の延長ではなく、一定の責任や義務を伴っていることを示している。

また、多くの生徒が「友人や顧問との思い出になる」と答えている。これは、部活動が単なる個人の活動ではなく、仲間と協力して取り組むことで生まれる絆や思い出を大切にする姿勢を示している。

部活は必要

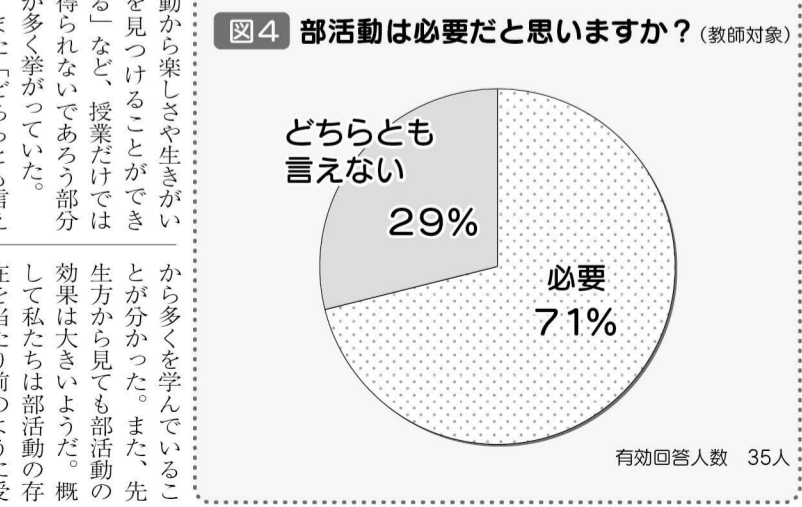
あなたは部活動とは自分にとってどのような存在なのだろうか。アンケートの結果、約7割の生徒が「必要だ」と答えている。これは、部活動が単なる趣味の延長ではなく、一定の責任や義務を伴っていることを示している。

また、多くの生徒が「友人や顧問との思い出になる」と答えている。これは、部活動が単なる個人の活動ではなく、仲間と協力して取り組むことで生まれる絆や思い出を大切にする姿勢を示している。

関わりから生まれる社会性

これまでのアンケート結果から、部活動は高校生にとって日々を充実させる重要な存在であることが分かった。これは、部活動を通じて、生徒が人間関係や上下関係を学べる機会を得ていることを示している。

また、多くの生徒が「友人や顧問との思い出になる」と答えている。これは、部活動が単なる個人の活動ではなく、仲間と協力して取り組むことで生まれる絆や思い出を大切にする姿勢を示している。



校長 森泉 孝行

卒業生に向けて 未来への期待

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。三年間の高校生活を通して大きく成長した皆さんの門出を祝うとともに、在学中の各分野での活躍により、学校の歴史に大きな足跡を残し、新たなページを書き加えてくれたことに感謝します。皆さんの残したものは後輩たちにとって大きな励みであり、目標となることとして生きてほしいです。

さて、卒業生のほとんどはこれから大学、短大、専門学校などに進学するわけですが、その後、社会に出て働くことになり、皆さんが二十歳になった頃、社会がどのように変わっているのか、そしてどう活躍しているのか、という点に注目してほしいです。現在急速に進んでいる人工知能 (AI) の発達や、IoT (Internet of Things) などの技術革新により、今後十から二十年間で職業のあり方が大きく変化すると予測されています。日本の労働人口の約半数が技術的人員に置き換わるといわれています。AIが記憶や検索、計算、統計処理などの分野で人間をはるかに凌ぐようになっていくことが予想されています。AIが記憶や検索、計算、統計処理などの分野で人間をはるかに凌ぐようになっていくことが予想されています。



第3学年主任 小野田 亮一

自信を持ち、胸を張って歩んで行こう

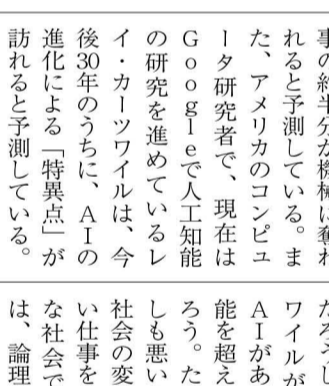
AI (人工知能) の研究の歴史は長く、実は1950年代から続いている。現在までに三度のブームがあり、現在は第三次ブームであるが、この数年を特に「AI元年」とする見方もある。AIは、すでに様々な商品やサービスに組み込まれて活用がはじまっている。インターネットの検索エンジンやスマートフォンの音声応答アプリケーションなどが、AIが活用されている。AIが活用されている。AIが活用されている。

感謝



生徒会長 寺嶋 佑梨亜

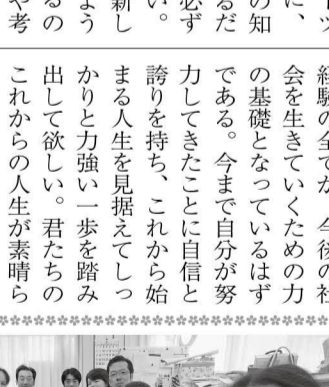
3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業生を代表してお祝い申し上げます。先陣方はとても優しく、思い返せば嬉しかったことです。これから良い先輩方と関わりながら、自分自身も成長できるように頑張りたいです。



新聞部 部長 本間 姫歩

思いを込めて...

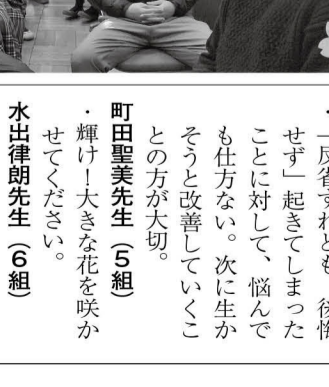
3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業生を代表してお祝い申し上げます。先陣方はとても優しく、思い返せば嬉しかったことです。これから良い先輩方と関わりながら、自分自身も成長できるように頑張りたいです。



一條久先生 (1組) 夢のために。人のために。笑顔忘れず。永井久美子先生 (2組) みんながってみんないい。個性を尊重しよう。

各担任から贈る言葉

問題解決能力、情報を分析する能力やそれを活用する力である。君たちは高校時代に様々な経験を積んだ。その経験の全てが、今後の社会を生きていくための力になる。今、自分が努力してきたことに自信と誇りを持ち、これからは新しい人生を見据えてしっかりと力強い一歩を踏み出して欲しい。君たちのこれからの人生が素晴らしいものであることを願っている。卒業おめでとう。



佐藤治先生 (7組) 佐藤先生がわかる素敵な大人になって下さい。松村優先生 (3組) 努力は裏切らない。金岡史将先生 (4組) 「反省せよ、後悔せず」起きてみて下さい。ことに對して、悔いも仕方ない。次に生かそうと改善していくことの方だ。町田聖先生 (5組) 輝け! 大きな花を咲かせてください。水出律典先生 (6組) 卒業しても毎日の精進を大切にしてください。「おこれる者は久しからず」の気持ちで忘れずに。

編集後記

一面分を担当したのは初めてで、大変な経験だったが、その分得られたものは多く、新聞作成のスキルも上がったと実感している。これからも絶えず精進していきたい。(加藤) 一人ひとりの記事を書くとき、正直見当がつかない。調べを進めながら、自分の知識の浅さも実感した。しかし、編集する中で、みんなのスキルを以前よりも増して書きたい。(小杉) アンケートを行ううちに経附生のユーモアセンスにたまたま驚かされた。私もユーモアセンスを磨くために、個性豊かな部員と共にたくましく腹筋を鍛えていきたい。(高橋)